



名古屋工業大学 URAメールマガジン

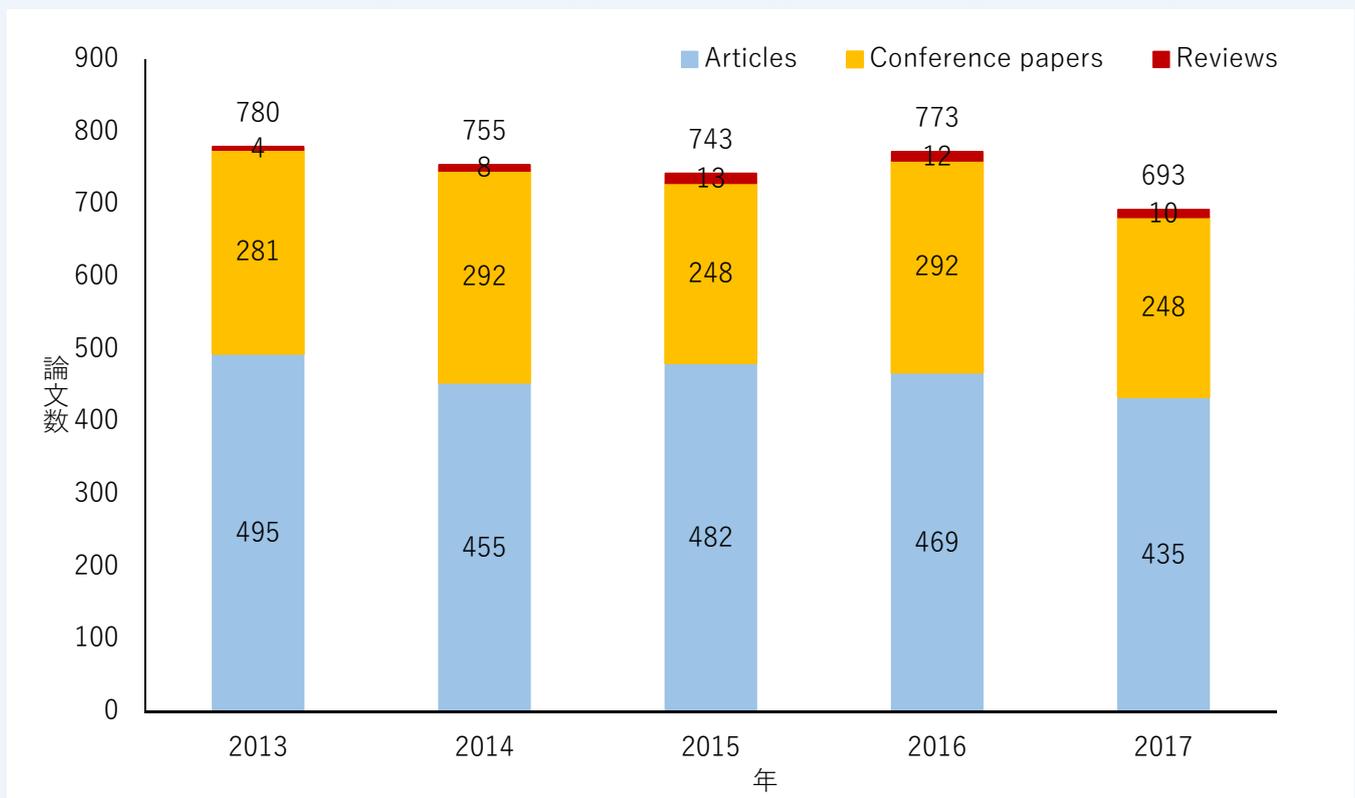
2018年10月10日

Vol.007

発行:名古屋工業大学リサーチ アドминистраーション オフィス
TEL 052-735-7424 URL <http://rao.web.nitech.ac.jp/>

名工大の2017年度研究力の分析を進めております。今回は、名工大全体の論文数について2013年から2017年までの推移を示した。また、昨年からの違いとして「分析ツールとそのデータベース」を変更した事から、論文数全体は増えています。大きな違いは採択ジャーナル数が増えた事。また、Conference Papersが採択されて純増となった事です。詳細は次の機会に報告する予定です。

名工大の論文総数の推移



Data set : Scholarly Output vs Publication Year/Entities: 0000 Nagoya Institute of Technology /Year range:2013 to 2017/Types of publications included : Articles, reviews and conference papers/Data source : Scopus/Date last updated:8 June 2018/Date exported:26 June 2018



2018年10月10日

Vol.007

講演会の開催予定

URAオフィスは近年の大規模災害の頻発をみて、国民の1人1人が危機管理の意識を持つ事が重要であると再認識しました。

そこで、危機管理については個人としても、また、組織としても徹底して教育・訓練され、これを実践している宇宙飛行士に話を聞く事にしました。宇宙飛行士の危機管理と一般人では危機のレベルに差がありますが、危機管理の本質は同じです。講演に続き、本学の学生、教職員を交えてそれぞれの危機管理についてパネル討論を行います。多くの方々の参加を待っております。

名古屋工業大学 講演会

宇宙飛行士から学ぶ 危機管理

近年の我が国における大規模災害の頻発を見ると、全ての国民が危機管理意識を持つ事の重要性が改めて認識されます。本講演会ではJAXA宇宙飛行士 大西卓哉氏を呼んで、危機管理が重要な宇宙飛行士の国際宇宙ステーション (ISS) 滞在ミッション遂行について話していただきます。大西氏の講演をもとに、本学の学生、教員を混じえたパネルディスカッションを行います。これによって皆さんの危機管理についての認識が深まればよいと思います。



日時 平成**30**年**12**月**12**日(水)

場所 於：名古屋工業大学

NITech Hallまた4号館Hallにてビデオ投影接続

13:30~15:00 (13:00より入場受付)

参加対象：名古屋工業大学(学部学生、大学院生、教職員)及び一般の方